

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R3-2号)

令和3年6月16日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和3年6月15日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

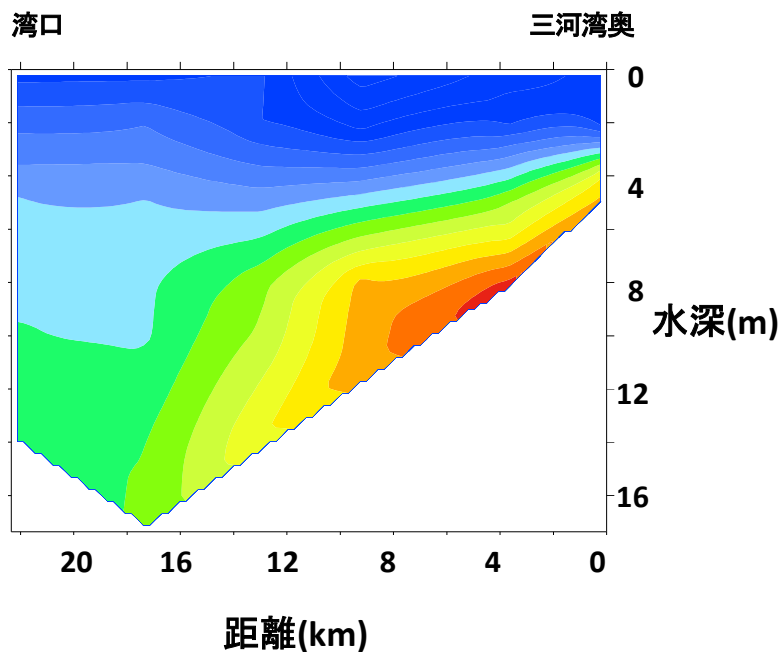
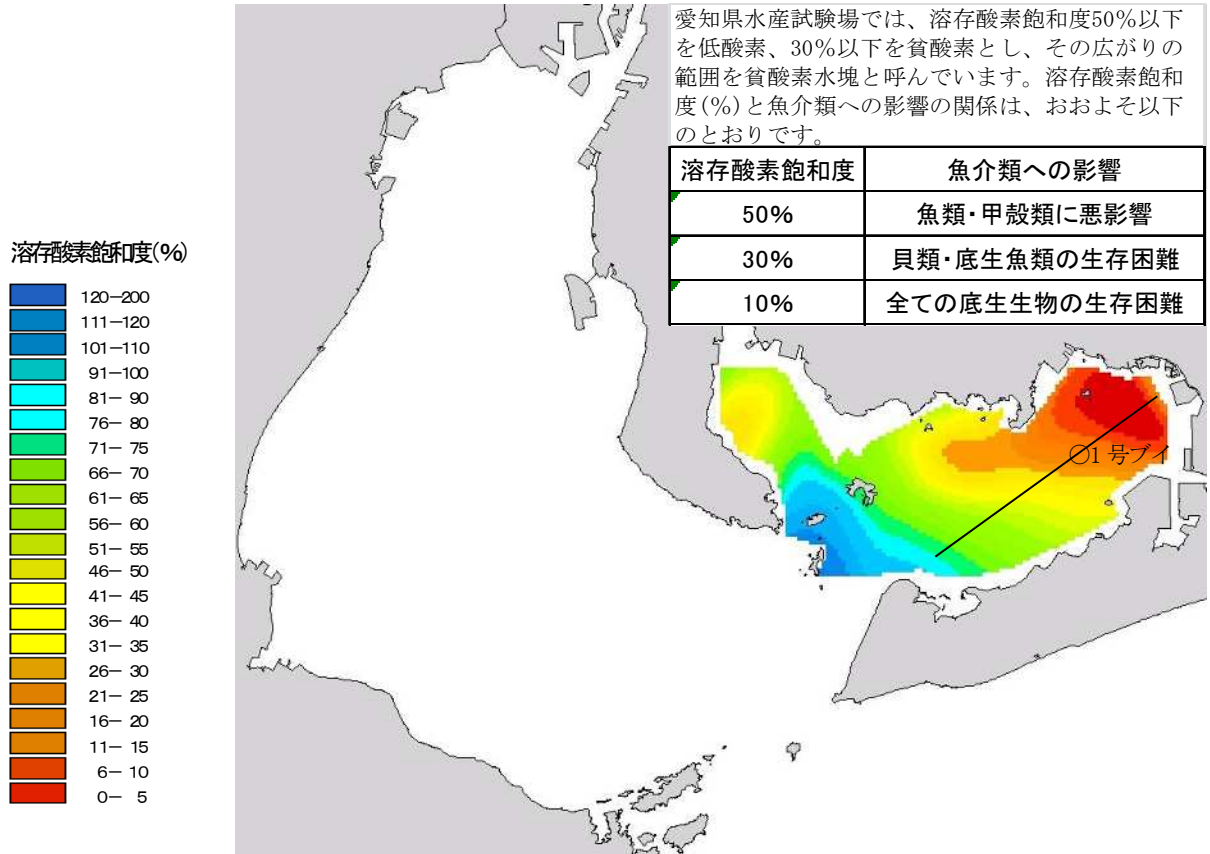


図1 三河湾(6月15日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

6月15日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾北部で貧酸素水塊が確認されました。また、知多湾で溶存酸素濃度が低下しています。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、6月6日以降は海底の貧酸素水塊が徐々に厚みを増しており、16日現在は海底上約3mの範囲で貧酸素水塊が確認されています（図2）。

今後は表層の水温上昇と降雨による塩分低下にともなう成層の発達により、下層で貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.7~25.7	25.1~30.6
底層	18.7~21.2	31.5~32.8

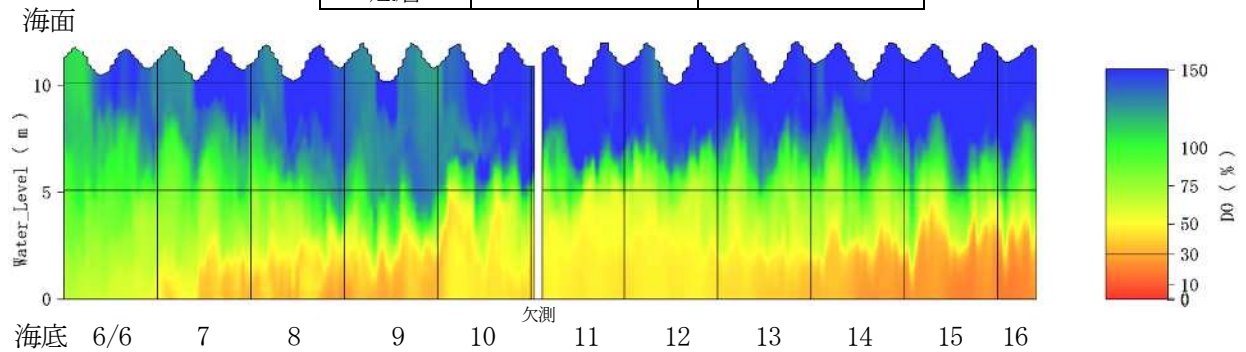


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参 考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

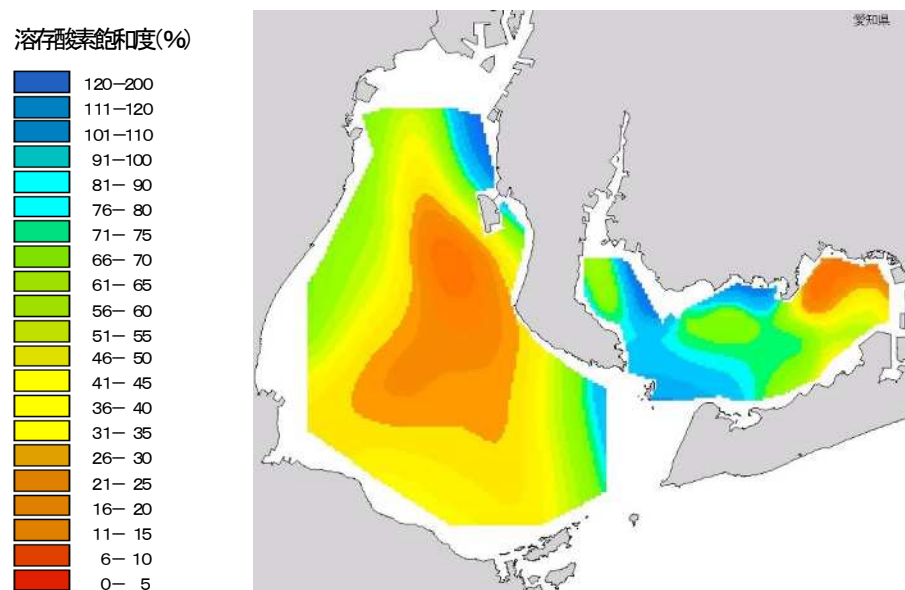


図3 令和3年6月1、2日（伊勢湾）、6月2、3日（三河湾）